

平成19年4月2日
内閣府(防災担当)

平成19年度予算における地域防災拠点施設整備モデル事業の 新規採択及び各事業の予算額について

内閣府では、地域における防災対策の中核的な拠点となる地域防災拠点施設の整備について平成8年度より「地域防災拠点施設整備モデル事業」により支援をしており、平成18年度までに、整備中を含め39施設の整備を採択しています。

今年度は、大阪府河内長野市、岡山県岡山市において総合監理機能を有する施設を新たに採択することとしています。

1. 事業目的

災害時には津波避難や災害対策の拠点として機能し、平常時には防災に関するPR、教育、訓練等の活動の場として機能する「地域防災拠点施設」の全国各地における普及・整備を推進するため、そのモデルとなる施設の整備に対して国庫補助により支援を行う。

2. 事業の概要

| | |
|-----------|--|
| 事業主体 | 地方公共団体 |
| 補助率等 | 1 / 2 (国庫補助金の上限額2億5千万円) |
| 補助対象 | 地域における津波避難や災害対策活動の中核的な拠点としての機能に加え、防災教育機能、備蓄機能を備えた施設の整備費用 |
| 平成19年度予算額 | 395百万円(新規2箇所、継続5箇所) |

3 . 事業実施箇所の概要

【新規採択箇所】

(単位 : 百万円)

| | 施設の名称 | H19 事業費 | H19 国費 | 事業主体 |
|----------------|--------------------------|---------|--------|------------------|
| 総合 監理 施設 | 河内長野市消防防災拠点 施設 (仮称) | 1 0 0 | 5 0 | 河内長野市 (大阪府) |
| | 岡山市消防防災センター (仮称) | 2 0 0 | 1 0 0 | 岡山市 (岡山県) |

【継続事業箇所】

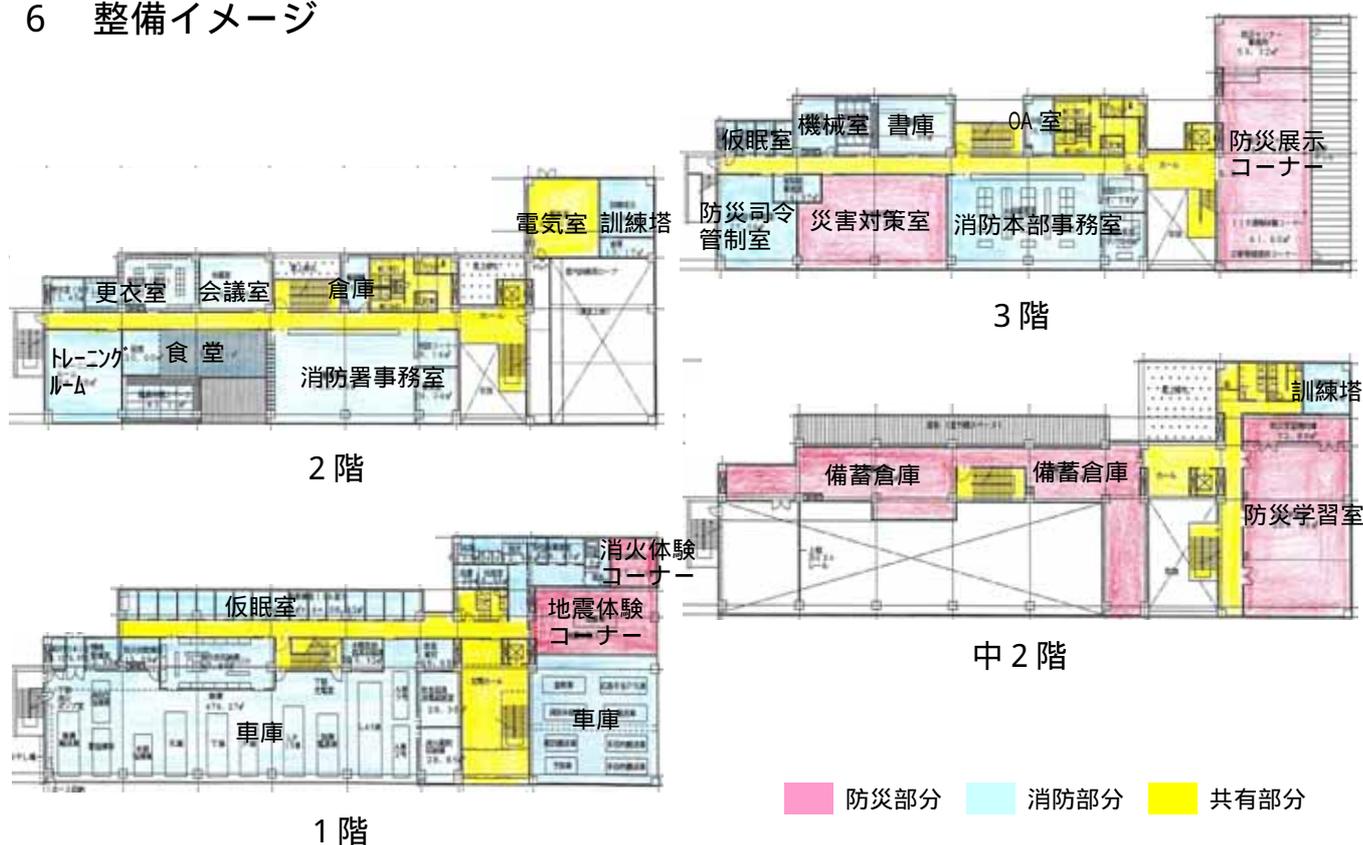
(単位 : 百万円)

| | 施設の名称 | H19 事業費 | H19 国費 | 事業主体 |
|----------------|----------------------------|---------|--------|----------------|
| 津波 避難 施設 | 女川町津波避難センター (仮称) | 1 3 8 | 6 9 | 女川町 (宮城県) |
| | 松茂町津波避難センター (仮称) | 1 6 | 8 | 松茂町 (徳島県) |
| | 高知市種崎地区津波避難 センター (仮称) | 7 0 | 3 5 | 高知市 (高知県) |
| 総合 監理 施設 | 山口県大島防災センター | 8 8 | 4 4 | 山口県 |
| | 新城市消防防災センター | 1 7 8 | 8 9 | 新城市 (愛知県) |

内閣府 (地震・火山対策担当)
佐藤
電話 : 03-3501-5693

新規採択箇所の概要（河内長野市）

- 1 名称 河内長野市消防防災拠点施設（仮称）
- 2 位置 大阪府河内長野市（東南海・南海地震防災対策推進地域）
- 3 施設概要
 - (1) 総合監理施設：消防署合築
 - (2) 敷地面積 約 4,900 m²
 - (3) 延床面積 約 4,300 m²（うち防災部分 約 1,400 m²）
 - (4) 構造 地上3階建（RC造）
 - (5) 総事業費 2,321 百万円（うち防災部分 752 百万円）
- 4 特徴
 - ・市の災害対策本部を設置するための予備施設として活用される災害対策活動の拠点施設を整備
 - ・平常時には消防署と連携し、市民に対して災害の模擬体験や実技訓練などの防災教育を実施
- 5 スケジュール
平成 19 - 21 年度
- 6 整備イメージ



新規採択箇所の概要（岡山市）

1 名称 岡山市消防防災センター（仮称）

2 位置 岡山県岡山市（東南海・南海地震防災対策推進地域）

3 施設概要

(1) 総合監理施設：消防署合築

(2) 敷地面積 約 3,800 m²

(3) 延床面積 約 4,200 m²（うち防災部分 約 1,300 m²）

(4) 構造 地上5階建（鉄骨造）

(5) 総事業費 1,402 百万円（うち防災部分 400 百万円）

4 特徴

- ・市の災害対策本部を設置するための予備施設として活用される災害対策活動の拠点施設を整備
- ・平常時には防災情報の展示や防災ビデオの視聴により地域住民への防災教育を実施

5 スケジュール

平成 19 - 20 年度

6 整備イメージ



完成予想図



4 階



1 階



3 階

防災部分 消防部分 共有部分